

第3回日アラブ政治対話閣僚級会合 共同声明（骨子）

1. 日・アラブ関係

- 国際社会が分岐点にある中、日アラブ協力がこれまでになく重要との認識を共有。
- 日アラブ間の協力の現状を評価。今後、文化、教育、開発、環境、エネルギー等のより広い分野で協力することへの意欲を表明。来年、日本における次回日アラブ経済フォーラムの開催を期待。
- テロとの戦い、持続可能な開発、エネルギー安全保障、食料危機への対応等、様々な国際場裏の課題に対処するための共同の行動の必要性を強調。
- 日本による、アラブ諸国に対する継続した人道・財政支援を高く評価。

2. 地域・国際情勢

国際社会の平和と安定

- 国際社会の平和と安定の維持の重要性を強調。国連憲章及び国際法の原則に従い、紛争の平和的解決の促進、武力による威嚇または武力の行使の禁止にコミット。
- 法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の重要性を共有。

ロシアのウクライナ侵略

- 武力による威嚇または武力の行使による領土取得の禁止の重要性を強調。ウクライナにおける包括的、公正かつ永続的な平和を、可能な限り早期に実現する必要性を強調。核兵器の使用・威嚇は許されないという認識を共有。

中東和平

- 「二国家解決」や関連国連決議等に沿って諸問題を解決し、公正で永続的、かつ包括的な中東和平を実現する必要性を確認。パレスチナの国連加盟に向けた熱意に留意。
- イスラエルの入植活動は違法であり、完全に停止すべきことを確認。東エルサレムの最終的地位を予断するいかなる行為、及び全ての暴力・扇動行為を控えることを強調。
- ガザ地区の人道状況悪化への懸念を表明。
- 「平和と繁栄の回廊」、ジェリコ農産加工団地（JAIP）等、日本の長期の支援を賞賛。国連パレスチナ難民救済事業機関（UNRWA）の重要性及び財政支援の必要性を強調。

リビア

- 国連が促進するリビア人主導の政治的解決、及び自由、公平、透明性、包摂性のある選挙の早期実施の重要性を強調。

シリア

- 関連安保理決議に基づき、シリアの統一、一体性、主権を保持し、テロを排除し、難民の自発的で尊厳のある、安全な帰還のための条件を強化し、平和的解決を実現する必要性を強調。

イエメン

- 同国の平和と安定を実現するための大統領指導評議会の取組を支持。国連特使への支持を強調。イエメン国民間の政治対話の早期開催への強い期待を表明。サーフィル号問題の進展を歓迎。

スーダン

- 国内の武力衝突に関し、停戦や民間人保護に向けた地域諸国等の取組を歓迎。

U A E

- 3島に関する問題の平和的解決に向けた努力への支持を強調。

3. 地域・国際社会の課題、東アジア情勢

北朝鮮

- 関連安保理決議と統合的な朝鮮半島の完全な、検証可能な、かつ不可逆的な非核化に向けた具体的な措置の実施の重要性を強調。
- 北朝鮮による前例のない数の弾道ミサイル発射及び核兵器の追求を強く非難。
- 北朝鮮に対し、関連安保理決議及び六者会合共同声明の下での義務及びコミットメントの即時履行を強く要求。
- 国際社会の人道上的懸念への対処の重要性を強調。

核軍縮・不拡散

- アラブ諸国は「ヒロシマ・アクション・プラン」を歓迎。中東非大量破壊兵器地帯設置に関する決議の履行への支持を表明。
- 核兵器用核分裂性物質生産禁止条約（F M C T）早期交渉開始の重要性を共有。
- 中東地域を含め、N P Tの普遍的な遵守を達成することの重要性を強調。

気候変動

- 気候変動に優先的に取り組む重要性を強調。UAEで開催されるCOP28へのコミットメントを確認。

水資源問題

- アラブ諸国にとっての水資源の確保の重要性を強調。国際河川を共有する国が、公平で、バランスのとれた、拘束力ある合意に達するため真摯に交渉し、一方的措置を控える必要性を強調。

コーラン焼却

- コーランへの度重なる攻撃を非難。他者の信仰心を尊重すると共に、対話を通じた解決の必要性を共有。

4. その他

- アルジェリアの安保理非常任理事国当選（2024—25年）を歓迎。安保理場裏での日・「ア」間の連携に期待。
- 第4回政治対話を2025年に実施する意思を表明。